



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社  
 コード番号 4696 URL <https://www.watabe-wedding.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部長 (氏名) 鈴木 眞治 TEL 075-778-4111  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	13,287	7.8	614	0.6	820	21.8	476	22.5
2019年3月期第1四半期	12,330	7.3	611	36.8	673	46.6	389	28.5

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 130百万円 (△68.7%) 2019年3月期第1四半期 416百万円 (63.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	48.10	—
2019年3月期第1四半期	39.27	—

(注) 2019年6月27日に開催された定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、当連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。この結果、従来より決算期が12月31日であった一部の連結子会社については、前第1四半期連結累計期間は2018年1月1日から2018年3月31日までの損益を基礎として連結しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は2019年4月1日から2019年6月30日までの損益を連結しております。なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	24,173	10,707	44.3
2019年3月期	24,436	10,577	43.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 10,699百万円 2019年3月期 10,570百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2019年12月期の第2四半期末及び期末配当予想額は未定としております。

### 3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年4月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	—	1,150	—	1,200	—	700	—	70.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正につきましては、本日（2019年7月31日）公表の「決算期の変更に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
3. 当ブライダル業界は婚礼の施行時期に季節の変動があり、当社は業績管理を年次で行っていることから、第2四半期連結累計期間については業績予想の開示を行っておりません。
4. 2019年6月27日に開催された定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、当連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月決算となりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
 (注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無
 (注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期1Q	9,909,400株	2019年3月期	9,909,400株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	626株	2019年3月期	626株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期1Q	9,908,774株	2019年3月期1Q	9,908,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料等に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、前期にオープンした沖縄の「古宇利島 空と海の教会」、ハワイの「コオリナ・チャペル・プレイス・オブ・ジョイ」が好調に稼働いたしました。さらに、顧客志向を反映したトレンド性の高い商品展開や、顧客ニーズを汲み取るコンサルティング型の営業力を強化するなどし、挙式組数の増加及び1組当たり単価が向上いたしました。前期にグループ化した旅行会社「株式会社コンパクトシーク」においては、リゾート挙式顧客に向けたオリジナル旅行商品を展開するなど積極的な営業施策を実施し、売上に大きく寄与いたしました。

また、成長戦略の重点施策のひとつである海外展開を加速すべく、2019年1月より近年人気の高まるリゾート地、ベトナム・ダナンでの挙式サービスを開始し好調に推移するとともに、2019年4月に韓国に現地法人を設立し、香港・台湾・上海に続き、新たな販売拠点を設け、アジアを中心とした海外顧客向けサービスの拡充に努めました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、ホテル雅叙園東京では、日本美あふれる唯一無二の空間である施設の特徴を活かしたブランド戦略を国内外へ向け積極的に展開し、婚礼、宿泊共に堅調に推移いたしました。メルパークでは、宿泊において、市場動向を加味した価格コントロールを都度実施したことにより、稼働率、客室単価共に向上いたしました。また、前期よりメルパークのフォト事業をワタベウェディングの直営店としてリニューアルを行うなどサービス向上に努めた結果、フォトウェディングの実施組数が大幅に増加し、収益に寄与いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高13,287百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益614百万円（前年同四半期比0.6%増）、経常利益820百万円（前年同四半期比21.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益476百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

#### ① リゾート挙式

ハワイの主力挙式施設が好調に稼働し、顧客ニーズに合わせた商品展開などを実施した結果、売上高は5,907百万円（前年同四半期比15.1%増）となったほか、利益面につきましては、新施設を中心としたプロモーション強化や成長事業推進などに伴う販売管理費の増加により、セグメント利益は80百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

#### ② ホテル・国内挙式

積極的なブランド価値訴求や前期に実施した施設リノベーションなどの効果により、売上高は7,380百万円（前年同四半期比2.5%増）となったほか、利益面につきましては、原価率が上昇したことなどにより、505百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ355百万円減少し、8,264百万円となりました。これは主に売掛金が増加した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円増加し、15,908百万円となりました。これは主に有形固定資産のその他が増加した一方で、建物及び構築物が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ262百万円減少し、24,173百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ567百万円減少し、9,869百万円となりました。これは主に賞与引当金及び流動負債のその他の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ174百万円増加し、3,595百万円となりました。これは主に固定負債のその他の増加によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ393百万円減少し、13,465百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、10,707百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「決算期の変更に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,072	4,507
売掛金	1,665	1,841
商品	187	217
原材料及び貯蔵品	403	422
その他	1,307	1,293
貸倒引当金	△15	△17
流動資産合計	8,620	8,264
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	104	111
建物及び構築物(純額)	6,225	6,052
器具備品(純額)	1,223	1,184
土地	1,719	1,675
その他(純額)	288	649
有形固定資産合計	9,561	9,673
無形固定資産		
のれん	672	662
その他	970	1,021
無形固定資産合計	1,642	1,683
投資その他の資産		
差入保証金	2,697	2,690
その他	1,925	1,872
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	4,611	4,551
固定資産合計	15,815	15,908
資産合計	24,436	24,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,986	2,197
短期借入金	1,200	1,010
前受金	3,231	3,199
賞与引当金	782	415
その他	3,237	3,047
流動負債合計	10,437	9,869
固定負債		
長期借入金	1,000	890
退職給付に係る負債	1,280	1,321
資産除去債務	880	869
その他	260	513
固定負債合計	3,421	3,595
負債合計	13,858	13,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,051	4,047
利益剰余金	2,735	3,117
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,962	11,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	22
繰延ヘッジ損益	10	△64
土地再評価差額金	△773	△681
為替換算調整勘定	416	152
退職給付に係る調整累計額	△68	△70
その他の包括利益累計額合計	△392	△641
非支配株主持分	7	8
純資産合計	10,577	10,707
負債純資産合計	24,436	24,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,330	13,287
売上原価	3,872	4,379
売上総利益	8,457	8,908
販売費及び一般管理費	7,845	8,294
営業利益	611	614
営業外収益		
為替差益	85	171
その他	31	41
営業外収益合計	117	213
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	0	1
休止施設費用	48	—
その他	2	3
営業外費用合計	54	7
経常利益	673	820
特別利益		
受取補償金	13	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	45
施設店舗整理損	14	—
特別損失合計	14	45
税金等調整前四半期純利益	672	774
法人税等	282	302
四半期純利益	390	472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	476

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	390	472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	58	△74
為替換算調整勘定	△37	△262
退職給付に係る調整額	3	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	25	△341
四半期包括利益	416	130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414	135
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結決算日の変更に関する事項)

2019年6月27日に開催された定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、当連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。変更の理由は、当社グループの決算期を統一することで、予算編成や業績管理等、グローバルな事業運営の効率化を図り、グループ一体となった経営を推進するためであります。

これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月決算となります。

また、従来より決算期が12月31日であった一部の連結子会社については、前第1四半期連結累計期間は2018年1月1日から2018年3月31日までの損益を基礎として連結しておりましたが、当第1四半期連結累計期間は2019年4月1日から2019年6月30日までの損益を連結しております。なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	5,132	7,197	12,330	—	12,330
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,958	37	1,996	△1,996	—
計	7,091	7,235	14,326	△1,996	12,330
セグメント利益	92	511	603	7	611

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	5,907	7,380	13,287	—	13,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,518	92	2,610	△2,610	—
計	8,426	7,472	15,898	△2,610	13,287
セグメント利益	80	505	586	28	614

(注) 1. セグメント利益の調整額28百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。